

# 糖代謝異常妊産褥婦への看護支援セミナー

周産期・育児期に糖代謝異常状態にある妊産褥婦が増加しています。調査結果から、糖尿病看護認定看護師や糖尿病療養士は妊婦が苦手、逆に助産師は糖代謝異常が苦手と報告されており、適切な支援が届いていない可能性があります。妊娠糖尿病既往女性のその後の2型糖尿病(DM)発症率は正常の女性の7.43倍であり、出産年代の高齢化から、妊娠・出産前後に2型DMを発症する可能性は高いといえます。一方で、長期間の母乳育児は、児の将来の肥満を予防し、生活習慣病を予防すると同時に、女性自身の糖代謝も改善し、将来のDM発症を予防するとわかってきています。周産期・育児期に糖代謝異常のリスクに対して適切に支援することは、女性の一生の健康を支援するものとなります。

本セミナーは、周産期・育児期を専門とする看護職が、この時期の糖代謝異常に関わる科学的に正しい情報を獲得し、適切に支援できることを目的に開催します。

【対象者】 テーマに関心を持つ看護職(助産師、看護師、保健師)及び栄養士等の医療職

【場 所】 東京医科歯科大学3号館18階 保健衛生学科講義室1

〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 <http://www.tmd.ac.jp/index.html>

【参加費】 10,000円(会員)、20,000円(非会員)

\*2日間受講された方に、受講証明書を発行します。

【定 員】 60名程度(参加費事前入金の事前登録のみ、当日欠席の場合、参加費は返却しませんが、セミナーテキストは後日送付させていただきます。)

【申込方法】オンライン受付のため、下記のURLよりログインして登録ください。

オンライン参加登録システム:

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/apply/JSMN>

学会HP掲載のセミナーのご案内からご利用になれます(学会終了後に公開予定)。

【応募期間】平成29年9月1日(金)9時~平成29年10月20日(金)17時

11月11日(土):1日目		11月12日(日):2日目	
9:55	オリエンテーション		
10:00~ 12:00	糖尿病と妊娠期の糖代謝状態の 基礎知識 講師:成田 伸	10:00~ 12:00	糖代謝異常妊産褥婦への看護支援の基本 講師:成田 伸
13:00~ 14:30	周産期の糖代謝異常の診断と治療 講師:荒田 尚子	13:00~ 14:30	糖代謝異常妊産褥婦への看護支援の実際① (妊婦と産婦) 講師:高橋 久子
14:45~ 16:15	糖尿病の食事療法 講師:上畑陽子	14:40~ 16:00	糖代謝異常妊産褥婦への看護支援の実際② (褥婦と新生児) 講師:高橋 久子
16:20~ 17:00	ディスカッション ファシリテーター	16:05~ 16:50 16:50~	ディスカッション ファシリテーター まとめ

\*「周産期の糖代謝異常の診断と治療」(90分)は、助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)レベルⅢ認証申請に活用可能な研修(必須研修:⑥フィジカルアセスメント:代謝)です。この時間のみの受講も可能ですが、全日程の参加を勧めします。詳細はHPで確認ください。

\*1日目の昼食時間と午後の休憩の時間を使って、食前・食後の自己血糖測定、HbA1c測定が体験できます。2日目の昼食時間は、最新のインスリン情報を得ると共にインスリンの皮下注射の演習を体験できます。

【講 師】 荒田 尚子(国立成育医療センター 母性診療センター 母性内科 医長、糖尿病専門医)

高橋 久子(杏林大学医学部付属病院 助産師、糖尿病看護認定看護師)

上畑陽子(東京大学医学部附属病院 管理栄養士)

成田 伸(自治医科大学看護学部 教授、母性看護学・助産学、日本母性看護学会理事)

【ファシリテーター】松原まなみ(聖マリア学院大学、日本母性看護学会理事)、町浦美智子(武庫川女子大学、日本母性看護学会理事、坂梨薫(関東学院大学、日本母性看護学会幹事)、山田加奈子(大阪府立大学、同左)、川口弥恵子(聖マリア学院大学)他